

意見提出元 日本電気株式会社

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望(2015年ごろや2020年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど)	総務省殿資料にもあるように、2020年においては現在の200倍以上と予想される携帯電話等のトラフィック増が生ずると考えられている。
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題(周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備)	<p>1) 700/900MHz帯の携帯電話への周波数割当 700/900MHz帯の携帯電話への周波数割当については、国際ハーモナイズの議論がなされている。しかしながら、携帯電話トラフィック増大による周波数の逼迫状況を鑑みると、有限希少な周波数をできるだけ早期に利用できることが望ましいと考える。</p> <p>国際ハーモナイズは、長期的な観点で容易に移行できる周波数割当が可能であれば検討すべき。</p> <p>他の周波数帯についても、将来のトラフィック爆発に備え、ワイヤレスブロードバンドへの割当検討されることを期待する。</p> <p>2)第4世代に向けての国際競争力強化 第4世代携帯電話では国際競争力強化のために早い段階から各国との協調が必要であり、国レベルの実証試験・共同研究(クラウドを始めとした様々なサービスのモデルシステムの検証等)を日本が主導して行うことも重要である。</p>
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	